

【科目名】 精神医学		【担当教員】						
【授業区分】 専門基礎分野(臨床医学)	【授業コード】 2-12-0340-0-1	(マルチプルズ)						
【開講時期】 2 年次 後期	【選択必修】 必修	(オフィスワウ) 来校時に対応						
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 基本的な精神疾患を理解するだけでなく、リハビリテーション従事者として心の病を持つ患者様に対する実際の対応の仕方を修得することが求められる。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし								
【講義概要】 (目的) 精神医学についての一般的な知識を身につけるだけでなく、レゾン等を含み広くリハビリテーション分野での精神医学的アプローチを実践的に学ぶ。 (方法) 疾患別の講義のほか、社会・司法に関する事例も豊富に取り上げることにより、自己を分析し、客観的に深く物事を捉えることのできる能力を鍛え、治療者としての技術の向上を目指す。また治療における、精神分析や芸術療法などの技法も修得する。								
【一般教育目標(GIO)】 ・ ICD に準じた基本的な精神疾患について理解する。 ・ 精神医学独特の専門用語について理解し、使いこなすことができる。								
【行動目標(SBO)】 ・ 自己を知り、他者との客観的対応について理解した上で、様々な治療技法について臨床現場で応用出来る								
【教科書・リサーチブック】 標準理学療法学・作業療法学-専門基礎分野(精神医学)第 4 版 2015 年. 医学書院								
【参考書】 奈良勲 鎌倉矩子 上野武治 標準理学療法学・作業療法学—専門基礎分野 (精神医学) 第 4 版 2015 年. 医学書院								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90						10	100 点
評価	取り込む力・知識	70						70
	思考・推論・創造の力	20						20

平成 26～28 年度入学者用

指 標	コラボレーションとリーディング								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							10	10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間 (分)					
1	自我を知る、発達と精神障害								
2	精神疾患の分類、症状論、検査、神経症性障害とその周辺疾患								
3	認知症、器質性精神病、薬剤性精神障害								
4	気分障害、統合失調症								
5	治療、法的変遷と実際								
6	精神リハビリテーション医療の実際Ⅰ 精神病理学的アプローチ 精神リハビリテーション医療の実際Ⅱ スポーツにおける精神医学								
7	精神リハビリテーション医療の実際Ⅲ 事例検討 触法精神医学 精神リハビリテーション医療の実際Ⅳ レゾナン精神医学								
8	精神リハビリテーション医療の実際Ⅴ 芸術療法 実際の音楽療法								

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。